

令和元年度における学長表彰対象者について

候補者(団体)	団体	人数	所属・職名等	選定理由
神戸大学ブリュッセルオフィス (代表者 吉田健一)	○	4	前オフィス所長 ほか3名の教職員	<p>神戸大学ブリュッセルオフィス（以下、オフィス）は、2010年設立以来、ブリュッセルシンポあるいはその他のセミナー、またアドバイザーボードを組織してきた。ブリュッセルシンポについては、本学の教員が欧州の多数の研究者との交流を深めることにより、その研究成果をあげるとともに、欧州における本学の名声を確固たるものにするに大きく貢献してきた。アドバイザーボードについては、Van Rompuy前欧州理事会議長（大統領）をメンバーに加え、他の委員と共に忌憚のない意見を頂くことで、神戸大学の教育研究の改善に大きく貢献し、この点は特に第2期の法人評価で高い評価を得た。</p> <p>2015年にブリュッセル自由大学（VUB）構内へオフィスを移転して以来、VUBとの交流が強化されただけでなく、次頁の功績に書かれているように、本学の協定数拡大・学生交換拡大、国際共同研究立ち上げ、欧州及び在欧日本政府機関とのネットワーク構築に大きく貢献してきた。</p> <p>特に、2017年にPatrick Vittet-Philippe氏（元欧州委員会イノベーション総局国際協力局日本・ロシア係長）は、オフィスのアドバイザーに就任して以来、ブリュッセルシンポのプログラム改善に多くのコメントを受けているほか、様々な欧州域内の教育・研究助成金の情報入手が容易となり、機関として本学に直接予算がJEUPISTプロジェクトのために配分され、また様々な申請書の校閲を受けることによりJean Monnet CoEが採択されるなど、本学の欧州における教育研究の地位は、他大学には見られないほどに強固なものとなった。</p> <p>本年、ブリュッセルシンポが10周年を迎えるに当たり、以上の功績を認め、学長表彰に選定した。</p>
清野 進		1	医学研究科 特命教授	<p>清野進特命教授は、2003年4月より神戸大学大学院医学系研究科教授に任命され、代謝学、特に糖尿病学の研究・教育に取り組み、医学研究科の発展に大きく貢献した。</p> <p>2013年3月31日に定年退職後も、引き続き生理学・細胞生物学講座細胞生理学分野分子代謝医学部門（寄附講座）の特命教授として、今日に至るまで医学研究科のさらなる発展に大きく貢献した。</p> <p>これまでの同氏の功績は国内外から非常に高い評価を得ており、「インスリン分泌を制御するシグナル伝達の分子機構に関する研究」に対し、学術上特にすぐれた研究業績であると認められ、2018年6月25日に第108回日本学士院賞を受賞した。</p> <p>本賞を受賞したことは研究者個人としての評価であると同時に、本学の研究レベルの高さを国内外に示すこととなり、今後、運営費交付金が削減されていく中で、産学官連携等による外部資金の獲得に対し、大きなプラス要因になることは間違いなく、本学の運営及び発展に大きく寄与するものである。同氏の受賞により、本学は前述の他、大学のイメージにおいても他の国立大学法人等に対し、大きなアドバンテージを得たと言っても過言ではない。</p> <p>同氏のこれまでの研究実績及び本学がこの先享受することとなる恩恵は、大学にとって多大な貢献である。</p> <p>以上の功績を認め、学長表彰に選定した。</p>
竹内 俊文		1	工学研究科 教授	<p>竹内俊文氏は、バイオ分析の分野で常識とされていた、抗体や酵素などの機能を用いる方法とはまったく異なる発想で、生体機能性人工材料を創製した気鋭の研究者である。竹内氏は、標的化合物に対する相互作用基が、生体高分子と同じように三次元空間内に適切に配置されれば、原理的に生体機能は人工的に再現できると考え、この発想に基づき、これまでのバイオミメティクスとは一線を画す「機能性ナノ三次元空間のテーラーメイド創製」という独創性の高い研究を行ってきた。</p> <p>その努力が結実し、2016年～2019年の間、竹内氏はImpact factorが12を超える著名な国際化学誌Angew. Chem. Int. Ed.に責任著者で3報を発表し、その内2報が表紙に採択されるという快挙を成し遂げた。これらの論文を含めImpact factorが5以上の論文を、この期間に15報発表するなど、本学の名を世界に知らしめた。また、JSTの助成により出願した国際特許は、新規性・進歩性・産業応用可能性の全てにおいて国際調査機関が認めており、大きな産業的波及効果が期待できる。</p> <p>大型研究費に関しては、2018年度挑戦的研究(開拓)、2019年度基盤研究(A)に採択されており、この分野リードする研究者として内外に認められている。また、臨床医との共同研究も3年前より開始しており、工学研究科医療デバイス創製医工学研究センターの副センター長として、医工連携に積極的に携わっている。</p> <p>教育面では、指導した博士課程学生が、神戸大学・特准教授や大阪大学・助教などアカデミックで活躍し、またタイの大学教員が博士課程に在籍するなど国際化にも貢献し、教育面でも見るべきものがある。</p> <p>以上の功績を認め、学長表彰に選定した。</p>

【財務上の貢献が著しい研究者】

NO	氏名	所属	職名	備考
1	古屋敷 智之	大学院医学研究科	教授	※
2	木村 建次郎	数理・データサイエンスセンター	教授	※
3	廣瀬 仁	都市安全研究センター	准教授	※
4	和氣 弘明	大学院医学研究科	教授	
5	松山 秀人	先端膜工学研究センター	教授	
6	森 康子	大学院医学研究科附属感染症センター	教授	
7	高井 義美	大学院医学研究科	特命教授	
8	神野 伊策	大学院工学研究科	教授	
9	鈴木 聡	大学院医学研究科	教授	
10	吉田 優	大学院医学研究科	准教授	
11	大川 剛直	大学院システム情報学研究科	教授	
12	金川 基	大学院医学研究科	講師	
13	井料 隆雅	大学院工学研究科	教授	
14	飯島 一誠	大学院医学研究科	教授	
15	高橋 裕	大学院医学研究科	准教授	
16	播磨 尚朝	大学院理学研究科	教授	
17	永田 真	大学院科学技術イノベーション研究科	教授	
18	的崎 尚	大学院医学研究科	教授	
19	菅澤 薫	バイオシグナル総合研究センター	教授	
20	西田 敬二	先端バイオ工学研究センター	教授	
21	小林 千浩	大学院医学研究科	准教授	
22	荻野 千秋	大学院工学研究科	教授	
23	蓮沼 誠久	先端バイオ工学研究センター	教授	
24	水谷 清人	大学院医学研究科	特命准教授	
25	的場 修	先端融合研究環	教授	
26	小川 渉	大学院医学研究科	教授	
27	吉本 雅彦	大学院システム情報学研究科	特命教授	
28	青木 茂樹	大学院人間発達環境学研究科	教授	
29	上東 貴志	計算社会科学研究センター	教授	
30	清野 進	大学院医学研究科	特命教授	
31	牧野 淳一郎	大学院理学研究科	教授	
32	佐々木 良平	医学部附属病院	教授	

33	青井 貴之	大学院科学技術イノベーション研究科	教授	
34	立川 貴士	分子フォトサイエンス研究センター	准教授	
35	齋藤 政彦	数理・データサイエンスセンター	教授	
36	錦織 千佳子	大学院医学研究科	教授	
37	福永 淳	医学部附属病院	講師	
38	南 康博	大学院医学研究科	教授	
39	寺田 努	大学院工学研究科	教授	
40	源 利文	大学院人間発達環境学研究科	准教授	
41	鈴木 洋	大学院工学研究科	教授	
42	竹内 俊文	大学院工学研究科	教授	
43	片岡 徹	学術研究推進機構	特命教授	
44	喜多 隆	大学院工学研究科	教授	
45	杉本 幸裕	大学院農学研究科	教授	
46	向井 敏司	未来医工学研究開発センター	教授	
47	三宅 親弘	大学院農学研究科	教授	
48	村川 英樹	大学院工学研究科	准教授	
49	西野 孝	大学院工学研究科	教授	
50	大山 憲二	大学院農学研究科附属食資源教育研究センター	教授	
51	勝二 郁夫	大学院医学研究科附属感染症センター	教授	
52	伊藤 俊樹	バイオシグナル総合研究センター	教授	
53	高橋 英幸	分子フォトサイエンス研究センター	助教	
54	小澤 誠一	数理・データサイエンスセンター	教授	
55	川口 秀夫	大学院科学技術イノベーション研究科	特命准教授	
56	大西 洋	大学院理学研究科	教授	
57	大野 良治	大学院医学研究科	非常勤講師	

※は財務貢献者の代表